

新型コロナウイルス感染防止対策を強化する中、単体は増収経常減益も連結は増収増益を達成

	連 結				単 体				(本 体)
	実 績	前期比	前期差	予想比	実 績	前期比	前期差	計画比	(前期比)
売 上 高	1兆530億円	103.8%	382億円	101.5%	7,414億円	101.5%	111億円	98.8%	(101.0%)
営 業 利 益	184億円	105.3%	9億円	85.4%	148億円	88.1%	▲20億円	83.3%	(91.2%)
経 常 利 益	214億円	108.3%	16億円	92.2%	186億円	94.2%	▲12億円	90.8%	(95.9%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	104億円	149.2%	34億円	102.8%	98億円	131.2%	23億円	96.3%	(120.3%)

- ・ 緊急事態における食糧の安定供給という当社の社会的使命を果たすべく、科学的根拠をもった新型コロナウイルス感染防止対策を徹底するとともに、お客様の求めの変化に対応する製品開発を行い、業績向上対策に取り組む。また、感染拡大の影響が大きい小売事業の業績回復にも努め、小売事業業績改善プロジェクトを毎週開催、手応えをもって前進。
- ・ 監査等委員会設置会社への移行を予定、取締役15名の内、3分の1となる5名の独立社外取締役を選任。常務会を業務執行の中心的機関とするとともに、コーポレートガバナンス、営業生産、関係会社の3つの小委員会により業務執行体制を強化。
- ・ 連結は子会社群順調で増収増益。単体は増収も原材料高騰が影響し経常減益。主要子会社は、不二家が大きく伸長し順調。ヤマザキビスケット、東ハトも増収増益。サンデリカは収益改善を進め黒字確保。ヴィ・ド・フランスは赤字幅縮小。
- ・ 本年1月のヤマザキパン本体の売上が前期比102.0%と順調なスタート。食パン、菓子パンの価格改定が着実に浸透し、食パンは前年回復、菓子パンは103.7%と伸長。和菓子と洋菓子も着実に回復。